

心ひとつに 佐々木さん、河江さんの比例2議席獲得を

日本共産党後援会東海ブロック連絡会の結成と交流・決起集会ひらく

4県のカあわせ総選挙勝利を

日本共産党後援会の東海ブロック連絡会が結成され、5月19日、交流と決起集会が名古屋市内で開催されました。愛知、静岡、岐阜、三重から186人が参加しました。党東海ブロック責任者の岩中正巴氏が基調報告、佐々木憲昭衆院議員、河江明美衆院東海比例候補と井上さとし参院議員が決意表明しました。参加者らは「佐々木さん、河江さんの2議席獲得を心ひとつに」との思いを固めました。

岩中氏 東海地方は長い間2大政党の拠点でした。1996年総選挙では3議席



を獲得しましたが、2003年以降は1議席です。9年ぶりに複数議席を回復させ全国的躍進に直結させよう。東海ブロックで71万票以上、得票率10%以上を獲得し、2議席を必ず実現しよう。



佐々木議員 野田首相は野党時代、「日本の風邪を肺炎にした」と消費税増税を国会で批判しました。その本人が、「増税分をすべて

て社会保障にまわす」などと真つ赤なウソをついて「命をかける」とまで言っている。総選挙は目前、暴走を止めるために河江さんとともに押し上げてください。



河江候補 岐阜の商工会議所で、高額所得者の税金の方が低いと紹介すると、「改めないといけませんね。会員にも話します」と

驚かれました。また、別の商工会長さんは「私は自民党だが、住宅リフォームの補助制度を共産党と一緒に実現できた」と喜んでおられました。寄せられた声を国会に届けるためがんばりたい。



井上議員 5月5日に泊原発が稼働停止し、日本のすべての原発が止まりました。国民の皆さんの

運動と日本共産党が国会で追及してきた

ことが大きい。玄海原発でのやらせ問題など、「うそつきは原発の始まり」です。稼働ゼロから原発ゼロへ、総選挙勝利で実現しよう。

(発言から)

●**岐阜市** 岐阜県から41人が参加しました。県内で10万票、岐阜市で2万票の得票をやりきって、岐阜県出身の河江さんを国会に送り出す決意です。月1回、ニュースを発行。2年前から活動を発展させ、市議、県議を先頭に後援会員がつどえるバスツアーなどを行っています。

●**三重・亀山市** 後援会員は700人で気軽にニュースをお読みいただけませんかと呼びかけています。手配りだと受け取った会員の自覚を促すとともに会員が元気であるか確認でき温かい後援会を作ることでできます。昨年から集いと街頭宣伝を毎月、新しい地域で計画。自治会長に開催の案内をしてビラ配布や街頭宣伝をしながら参加を呼びかけています。

●**名古屋港区** 昨年の市議選の得票数が後援会員数とほぼ同じで、これでは国政選挙で勝てないと、1万人の後援会員を目標にしました。区後援会合同で地域訪問をはじめ、4月までの7ヶ月間で2200軒を訪問。訪問すると、「声が聞こえたよ」「消費税増税、腹が立つ」「いつきてくれるかと待っていた」といわれ、行動した後援会員同士の連帯感も強まります。

●**沼津市・今沢** 2年前から市議の事務所地域の方が気軽に来れるようにと月1回バザールを開催しています。特に高齢者から好評で、東日本大震災以降は売上げから45万円を被災地に届けました。共産党だから安心だとの声もいただき、新しいつながりもできました。私たちが元気に、政治をしっかりとついで活動することが大事だと確信しています。